

建学の精神	時代の変化に対応できる真に役立つ人材の育成
重点目標	・高校卒業資格の取得 ・小さな「自信」の発見

評価基準（4:良い、3:やや良い、2:やや悪い、1:悪い）		自己評価		改善策	
		R6末	評価		
教育課程 学習指導	1	単位修得等の通信制のしくみをよく理解しているか	3.5	A	現状の継続をしつつ、今後もより良い学習指導に向けチャレンジして行く。 高校卒業に結び付けることはもちろん、資格取得や通信ならではの多彩な取り組みの中から「自信」になるような取り組みの画策もして行く。
	2	わかりやすく印象的なスクーリングのための工夫ができていたか	3.2	A	
	3	個々の生徒の性質に配慮した対応ができていたか	3.1	A	
	4	生徒のスクーリング等への取り組みが適切であったか	3.0	B	
	5	生徒のスクーリング中の態度に対して指導が適切であったか	2.9	B	
生徒指導	6	生徒の基本的な生活習慣をどのように思うか	2.5	B	本校から直接、保護者・生徒へ情報発信・相談支援を提供する指導体制を整え、指導を行う。 日常的に接点がある各拠点での通信教育連携協力施設職員による反復的な指導や情報共有のもと、連携して本校教員が行っていく。
	7	生徒の基本的な生活習慣確立のための指導が適切であったか	2.8	B	
	8	人権を尊重する指導の配慮が適切であったか	3.4	A	
	9	いじめの早期発見等に努めているか	3.3	A	
	10	問題行動への指導が適切であったか	3.3	A	
	11	生徒の悩みや相談に親身に応じていたか	3.4	A	
健康安全 環境整備	12	現在生徒の活動環境をどう思うか	3.0	B	現状は維持しつつ、環境整備に努める。 地域差への対応に注意を払いながら細やかな対応をする。
	13	生徒の安全管理に気配りができているか	3.1	A	
	14	環境美化に積極的に取り組んでいるか	3.2	A	
進路指導	15	現在の進路指導をどう思うか	3.0	B	情報発信・共有のデジタル基盤整備し、本校主体型の進路指導体制を整備する。 オンライン進路相談・面談の実施や教員・通信教育連携協力施設職員へのガイダンス・研修・連携強化を行う。進路研究イベントの企画実施を行う。
	16	生徒の進路について相談が適切であったか	3.1	A	
	17	進学・就職率の向上に努めたか	3.2	A	
	18	生徒の進路決定に向け外部との協力関係が構築されていたか	2.8	B	
連 携 発 信	19	本校通信制課程について積極的に外部発信がされていたか	2.7	B	引き続きいろいろな体験等ができるよう社会とのつながりを大切にしている。 情報発信・共有のデジタル基盤整備する。
	20	家庭・学校間の連携が充分で、情報提供も充分に行われていたか	2.9	B	
	21	三者面談等計画的の実施は適切であったか	3.1	A	
その他	22	通信制生徒への対応のため資質向上に向けた努力ができていたか	3.1	A	概ね良い評価ではあったが、専任ではなく非常勤職員については通信制の特殊な指導環境、体制への十分な適応ができていないと感じる教員もいた。 専門性の高い職員が多い体制づくりに努力する。 現地教員とのオンライン相談や研修を積極的に取り入れる。